

資料6 室戸ジオパーク 第3期実行計画(2016～2019)

大項目 (柱)	中項目 (重点)	小項目	実行計画										
			目的	実施事業	内容	実施主体・メンバー	2016	2017	2018	2019	世界ジオパークネットワーク・日本ジオパーク委員会審査指摘事項との関連		
● みんなで 取り組む 室戸らしさの 継承と 発展	守る	調査研究	川を知る(源流、流れ方、影響、地質・地形との関係、植生による影響など)	防災につながる〇〇川、どんどん、どんじやら、じゃぶじゃぶ行こう！(1泊2日)	源流さがし、水源まで歩く、川遊び、じゃぶじゃぶ歩く。自然の家に宿泊、バスで高知市往復を可能にする。	室戸ジオパーク推進協議会、国立室戸青少年自然の家、川の流域に住む地元の人	プレ実施	実施				【日本】6. ジオパークを活用した防災教育の充実 【世界】8. 国立室戸青少年自然の家との連携	
			室戸の生き物は、どこにどのくらいいるのか、保護はどうすればよいのかを考えていくための基礎調査を実施し、記録をまとめる	動物の調査	無人カメラを設置して哺乳類を調査し・記録をまとめ、発信する。	室戸ジオパーク推進協議会、市民、大学生、ハンター、森林組合、(協力: 四国自然科学史科学センター)	実施	継続	継続	継続			
			植物の調査を行い、データベースをつかって、保全につなげる	植物の調査	牧野植物園の研究者と一緒に植物調査を行い、標本や写真などを蓄積していく。レッドデータ調査にも参加する。	室戸ジオパーク推進協議会、市民、植物好きの人、(協力: 牧野植物園)	実施	継続	継続	継続			
	環境 ・防災 ・保存	清掃活動・調査研究	海岸のゴミを減らし、定点観測することで、環境保護への意識を高める。また、「浜弁当」という室戸の習慣をセットにすることで、室戸の文化習慣に触れ、守り、楽しく取り組む。	ビーチコーミングで浜弁当(1泊2日) 海岸漂着物調査	海岸清掃と漂着物の調査 イベントとしても、親子でビーチコーミングし漂着物の調査、浜弁当、流木アート、シーグラスで作品づくりを行う。自然の家に宿泊、バスで高知市往復を可能にする。	室戸ジオパーク推進協議会、国立室戸青少年自然の家、PTA、シーグラスアート作家、清掃活動世話人、高知新聞	計画	実施	継続	継続	【世界】8. 国立室戸青少年自然の家との連携		
		ジオサイト	サイトを見直し、ジオパークをよりよく管理運営していく。	室戸ジオパークの対象となるサイトを、地質学的なジオサイト、文化サイト、エコサイトに分けるなど、ジオサイトを見直し、新規サイトを構築する	・ジオサイトの見直し検討、ジオサイトの構築 ・ジオサイトに関する諮問会議の開催 ・看板の設置、リニューアル、パンフレット・地図などの印刷物発行	室戸ジオパーク推進協議会 新規ジオサイト候補地の住民研究者	検討研究	構築	整備		【世界】1. ジオサイトの見直し		
	防災	災害の際に使える水を知る。MAP作成後には、定期的に観察することで井戸の水の変化を把握する。	井戸MAPづくり、防災MAPづくり、復興マップづくり	学校のプログラムとして実施できるようにプログラムをつかって提案する。子どもたちと一緒に、防災MAPづくりに取り組む。井戸の変化を観察・記録する。被災後どう復興するかまでを扱う。	室戸市内の学校	計画・調整	実施	継続	継続	【日本】6. ジオパークを活用した防災教育の充実			
	学ぶ	調査研究・教育	室戸の伝承および伝統文化の解明 児童、生徒、一般市民参加型調査による社会教育の実現 内陸部におけるジオサイト新設	内陸部村落調査「むろと発見隊ー私の知らない室戸を探るー」	室戸市山間部の廃村と災害史の関係を、集落での聞き取り調査および現地調査を経て明らかにする。初年度は佐喜浜、次年度以降他の集落で調査実施。	室戸ジオパーク推進協議会 公募メンバー 各集落	準備検討	実施	実施	実施	【世界】3. 内陸部のジオサイト開発		
		調査研究・教育	河川水質に与える環境要因の解明 児童、生徒、一般市民参加型調査による社会教育の実現	河川流域調査「むろと発見隊ー川の探検ー」	河川水質の時系列変化について、簡便な調査法を確立し、地域住民参加型の調査体制を構築する。また、流域の動植物の生態系についても調査する。川の源流を探るイベントを実施する。	流域の住民、公募メンバー(小中学生) 室戸ジオパーク推進協議会、国立室戸青少年自然の家 ※自然保護助成基金助成事業	実施	継続	継続	継続	【世界】8. 国立室戸青少年自然の家との連携		
		調査研究	目の前に見えているものをこれまで以上にガイド活動に活用できるようにする。	断層等に関する研究成果の収集とガイド活動への反映	室戸岬や行当岬での断層に関する論文等を収集し、ガイド活動への活用を検討する。	室戸ジオパーク推進協議会 顧問 大学生 研究者	情報収集	検討	反映		【世界】5. 室戸岬の断層のような構造地質学的特徴をガイドなどに反映		
		ジオパーク・防災教育	防災イベントや避難訓練を通じて、地域住民の防災知識・意識を向上	参加体験型防災プログラム「インディージョーンズ養成講座」	複数回にわたる防災研修会を実施することで、防災に関する知識や技術、心構えを学ぶ。研修終了者には「室戸インディージョーンズ認定証」を授与することで、参加者の動機付けをおこなう。	国立室戸青少年自然の家 室戸ジオパーク推進協議会	検討	準備	実施	振り返り	【日本】6. ジオパークを活用した防災教育の充実		
ガイド・マスター		ジオパークで活躍できる人材の育成	ガイド養成講座の実施 マスター講座の実施	ガイド養成講座は、毎年実施し、マスター講座は隔年実施する。より多くの市民がジオパークについての知識を身につけ、ジオパークのための活躍ができるよう学びの場を設ける。	室戸ジオパーク推進協議会	実施	実施	実施	実施				

資料6 室戸ジオパーク 第3期実行計画(2016～2019)

大項目 (柱)	中項目 (重点)	小項目	実行計画										
			目的	実施事業	内容	実施主体・メンバー	2016	2017	2018	2019	世界ジオパークネットワーク・日本ジオパーク委員会審査指摘事項との関連		
●みんなで取り組む室戸らしさの継承と発展	光	研修会	室戸世界ジオパークセンターの職員をはじめ、市の職員や自然の家の職員、学校教員を対象とした研修会を実施し、室戸ジオパークやジオパークプログラムへの理解を深める機会とする。	研修会の実施	ジオパークプログラムの基本、室戸ジオパークに関する基礎的な研修会を実施する。学校教員や関連団体の職員など、ジオパーク活動の中心となり得る人を対象としても研修ができることを周知し、実施する。	室戸ジオパーク推進協議会	実施	実施	実施	実施			
		まがりラボ	子どもから大人まで幅広い年齢層が楽しく気軽に室戸ジオパークについて学ぶことができるプログラムの開発	・まがりラボ ワークショッププログラムの定期運用 ・ラボフェスの開催	室戸世界ジオパークセンターにて、特別展の内容に合わせたワークショッププログラムを定期開催する(月2日程度)。複数のプログラムを一堂に集めたラボフェスを年1回開催する。	室戸ジオパーク推進協議会 教育推進チーム 各集落 高校生、大学生	実施	実施	実施	実施			
	もてなす	ジオツーリズム	ツアー、体験プログラムの充実、地域資源の掘り起こし	・地域対抗ジオツアーコンテスト ・室戸の自然素材を活かしたツーリズム開発 ・体験プログラムの充実	・室戸を5地域に分け、ツアーを考え、実施し、コンテストを行って順位をつける。上位入賞地区には賞品等を贈呈する。 ・ジオツーリズム推進チームが実施してきたツアーのブラッシュアップ ・体験プログラムのインストラクターを養成し、プログラムの多様化と充実を図る。	室戸市民 室戸ジオパーク推進協議会 ジオツーリズム推進チーム	実施	実施	実施	実施			
		拠点施設	室戸世界ジオパークセンター来館者数の増加 室戸市民の室戸世界ジオパークセンター利用の促進	室戸世界ジオパークセンター・フリーマーケット 展示のリニューアル・拡充 センター整備(倉庫など)	・センターの駐車場等を使用し、フリーマーケットを開催 ・展示の追加・拡充、リニューアル ・センターの施設追加整備	室戸ジオパーク推進協議会 室戸市民	検討 計画	実施	実施	実施			
		受入体制	外国人観光客へのジオパークの案内 室戸市民の英語力の向上	室戸ジオパーク英会話教室	英語での日常会話、簡単なジオパークの説明ができる程度の教室を開く。	室戸ジオパーク推進協議会、ALT ジオガイド、高校生	検討 準備	実施	実施	実施			
		交通	歩き客に移動中も楽しんでもらう仕組みとして、旧道等に看板を設置し、満足度の向上を図る。	豆知識看板作成事業	地域の豆知識を説明する看板を設置する	観光ジオパーク推進課 室戸ジオパーク推進協議会 室戸市民	検討	検討	実施				
		市場調査	持続可能な方法で、ゆったり滞在型の訪問者を増やすためのマーケティング戦略を打ち立てる	ゆったり滞在型を増加させるためのマーケティング戦略づくり	マーケティングの専門家と共に持続可能な方法で新たな滞在型モデル構築のためのマーケティング戦略をつくり、実践する。室戸市民が積極的に(楽しんで)参加できる方法を模索する。	室戸ジオパーク推進協議会 商工会 マーケティング専門家	検討	準備	策定	実施			
		企画展	センターでの常設展の他に、来館者が楽しめるような展示を定期的に開催し、リピーターの増加につなげる。	センター2階フリースペースを活用した企画展の実施	・神宗展 ・室戸ジオパークの生き物展 ・調査研究事業の成果発表展など ・室戸市民とビジターが共に楽しめる企画展をおこなう	室戸ジオパーク推進協議会 調査研究事業参加者 市民	実施	実施	実施	実施			
		企画展	交流人口の拡大 地域資源の掘り起こし	室戸ジオパークひともの写真展	室戸の特産物、建物、風景、その他自慢できる人・物の写真を展示し、観光客へ室戸の情報を提供する。また、新たな魅力等の発見の場とする。 室戸市民が積極的に(楽しんで)展示に参加する。	室戸ジオパーク推進協議会 室戸市民	検討	検討	検討	実施			
		財源	ジオパークを活用した名物メニューとお土産を開発し、財源を確保する。	ジオパークに関連した新商品の開発・販売 案1)キンメに続け！流れ子を活用した新商品開発	・ジオストーリーのある名物メニュー(流れ子炊き込み、焼き流れ子の開発) ・ジオパーク関連のお土産(流れ子炊き込みの素、流れ子煮付レトルトの開発) ※開発コンテスト等を行い、積極的にアイデアを募集する	調理師会、民間業者、コンテスト参加者、室戸ジオパーク推進協議会	検討	検討	検討	実施			

資料6 室戸ジオパーク 第3期実行計画(2016～2019)

大項目 (柱)	中項目 (重点)	小項目	実行計画										
			目的	実施事業	内容	実施主体・メンバー	2016	2017	2018	2019	世界ジオパークネットワーク・日本ジオパーク委員会審査指摘事項との関連		
● みんな で 取 り 組 む 室 戸 ら し さ の 継 承 と 発	稼ぐ 思い出 継承術 —室戸の魅力を うてや— 産業 振興 ・ツー リズム	ジオツーリズム	室戸の一次産業を活性化させ、素材の良さプラスアルファを商品化することを目的とする。	一次産業の活性化につながるツーリズム開発	・収穫体験プログラムの開発 ・自分でさばいて食べる漁師めしツアーの開発	農協、農家、漁協、漁師、ジオツーリズム推進チーム、地域住民	検討	検討	検討	実施			
		情報整備	国道沿いの食事処のみではなく、中道の食事処を知ってもらい立ち寄ってもらうことを目的とする。	むろとを食す！マップ作り	市外から訪れた人から、食事処がわからないという声を聞くことが多いため、詳しい食事処マップを作成して配布する	地域の食事処、店主、地域住民	準備	調査	作成	配布			
		ブランド化	室戸ジオパークのブランドを確立させ、品質を保証する。	室戸ジオパーク関連商品の整理と認証	ジオパーク関連商品について、認証制度等を整備し、品質を保証し、ブランド化を進める。	室戸ジオパーク推進協議会 民間業者	検討	準備	実施	実施			
		グッズ販売・ロゴ使用	室戸ジオパークロゴを使用したグッズや、室戸の特産品を販売することで、地域の活性化につなげる	・室戸の思い出になるようなグッズやお土産物の開発と販売	・ロゴ使用のルール、グッズ販売のルールを策定 ・グッズ、お土産物の開発 ・販路の拡大(キラメッセ、スーパー、ホテル、空港など)	室戸ジオパーク推進協議会 ジオショップ運営者、道の駅キラメッセ	検討	作成	作成	販売			
● みんな で 取 り 組 む 室 戸 ら し さ の 継 承 と 発	広める	市民参加	市民が当事者意識を持ち、ジオパーク活動に自発的かつ積極的に関わっていただけるようする。	市民との交流(意見交換)の場を設ける。また、ジオパークについて市民が学べる環境をつくる。	・室戸ジオパークいどばた会議の実施 ・市民向け勉強会の実施	室戸ジオパーク推進協議会 市民	実施	実施	実施	実施			
		ネットワーク	GGNメンバー、JGNメンバーとの連携・交流を推進する	GF(ジオフード)オリンピック in 室戸	各ジオパークからジオストーリーを熱く語るの食材を使ったジオフードを出店してもらい、ジオパーク版グルメ祭を開催する	室戸海野食の会、婦人会、調理師会、室戸ジオパーク推進協議会	検討 計画	プレ 実施	検討 計画	実施			
		誘客	リピーターを増やす	ジオ風土で作るフード	ジオの大地で作る農作物の作業や収穫を行ってもらい、その食材を使ったバーベキューや郷土料理、おきやくを食していただく	農家、婦人会、地域住民	検討 計画	プレ 実施	検討 計画	実施			
		情報発信	地元の人やお客さんにジオを知ってもらおう。観光客自身がPR役！	ジオストーリーの作成(風土・Food)	高校生が選ぶ、食材とジオストーリー作り。飲食店で料理の食材のストーリーを書いた「しおり」などを置いてもらう。お客さんが持って帰ることが出来るような状況にする。	室戸高校生、ガイドさん、地元の婦人会、飲食店、室戸ジオパーク推進協議会	検討 計画	実施					
			地元の主婦に室戸の食材を使った料理を伝えるとともに、大地との関わりを知ってもらうことで、話のネタにしてもらう	ジオフード料理教室	地元の食材を使った料理教室の中で、食料に対するジオストーリーのプチ講座も盛り込む	調理師会などの食関係グループ、地元婦人会、室戸ジオパーク推進協議会	検討 計画	実施	継続	継続			
	ケーブルTVを利用して、市民に対して食・風土を通したジオパークのPR。ジオストーリーを市民に語ってもらう。	室戸ジオパークPR有線放送制作事業	土地のことをもっとも知っている、一次産業従事者・生産者を専門員が訪れ、語ってもらう(ご苦労話、こだわりも)。ストーリーを専門員がジオストーリーへ変換する	一次産業従事者、室戸ジオパーク推進協議会、エフビット、市民	検討 計画	→	実施						

資料6 室戸ジオパーク 第3期実行計画(2016～2019)

大項目 (柱)	中項目 (重点)	小項目	実行計画											
			目的	実施事業	内容	実施主体・メンバー	2016	2017	2018	2019	世界ジオパークネットワーク・日本ジオパーク委員会審査指摘事項との関連			
展	6千万年の 味わいの ジオフード (風土) ・情報 発信 ・交流	PR戦略	他のジオパークと連携してPR素材を作成することで、他の地域でPRをしていく	食材連携PR	同じ食材があるJGN同士でポスターをつくる	JA、漁協、室戸ジオパーク推進協議会	検討 計画	→	実施					
		国際貢献	他のジオパークと連携して国際貢献を進める	国際的なキャンペーン・ディベロップメント活動	JGNの有志メンバーと協力し、特にジオパークが少ない地域、ない地域への支援をおこなう。地域ごとの特有の「風土」をジオパーク活動に生かす方法を共に模索する。	室戸ジオパーク推進協議会 ※JGNのODA補助金事業	検討 実施	実施	実施	実施				
		ネットワーク	GGNやJGNの仲間と協力してジオパーク活動を推進する。	GGN活動への参加・経験や知識の共有 JGN活動への参加・経験や知識の共有 姉妹協定の締結と交流活動	国際会議、全国大会への参加やML等でのネットワーク活動への参加、現地審査員の派遣 ランカウイジオパークとの協定締結・交流事業 地域ごとの特有の「風土」をジオパーク活動に生かす方法を他のジオパークと伴に模索する。	室戸ジオパーク推進協議会 市民、小学校、中学校、高校	検討 実施	実施	実施	実施	【世界】9. 他の世界ジオパークとのコラボレーションの構築(相互訪問や共同活動) 10. GGN会議等への参加 11. 世界に向けた情報発信			
		ロゴの管理	室戸ユネスコ世界ジオパークのブランド化、普及	ロゴマーク(室戸ジオパークのロゴ、室戸ユネスコ世界ジオパークのロゴ)の管理・運用	ロゴマークの利用基準を確立させ、協議会事務局の管理のもとに活用する	室戸ジオパーク推進協議会 ロゴマーク利用者	検討 実施	実施	実施	実施				
		ビジョン	市民がジオパークの認識を共有する。	室戸の「風土」を見据えた上で、今後のジオパーク活動や室戸ジオパークの将来像を示したビジョン(4か年及び12か年の計画)を策定	・実行計画策定会等を開催 ・実行計画・基本計画(4か年及び12か年)の内容を検討 ・実行計画・基本計画の策定	室戸ジオパーク推進協議会 市民					検討 策定			